

あかふじ ニュース

第 21 号

発行 令和7年4月

山梨県消防防災航空隊



《山梨県ホームページ》

<https://www.pref.yamanashi.jp>

《やまなし防災ポータル》

<https://yamanashi.secure.force.com>

山梨県消防防災航空隊

〒400-0108 山梨県甲斐市宇津谷 445-1

TEL 0551-20-3601

FAX 0551-20-3603

E-mail: bousai-kokuu@pref.yamanashi.lg.jp

- ・令和6年度緊急運航実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ・各県防災航空隊視察研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ・令和6年度緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練・・・・・・・・・・ 3
- ・令和6年度林野火災 広域航空消防応援・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4～7
- ・合同訓練等実施内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8～12
- ・山梨県消防防災航空隊自隊訓練・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- ・退任隊員紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14～15

令和6年度緊急運航実績

区分	件数 人員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
		救助	救助件数	1	1				5	9	16	9	3	4	3
救助人員	1		1				4	10	22	8	3	4	3	56	
救急	救急件数	1	1				3	8	11	6	3	3	3	39	
	搬送人員	1	1				3	9	11	6	3	3	3	40	
火災	災害件数	1	1							7	2	5	4	20	
	飛行回数	2	2							10	4	10	5	33	
災害応急 対策	災害件数						1							1	
	飛行回数						1							1	
件数小計		3	3	0	0	0	9	17	27	22	8	12	10	111	
相互応援・ 広域航空 消防応援	救助	救助件数						1	3					4	
		救助人員						1	3					4	
	救急	救急件数						1	2					3	
		搬送人員						1	2					3	
	火災	災害件数	2									1		3	
		飛行回数	4									1		5	
	その他	災害件数													0
		飛行回数													0
件数小計		2				0	0	2	5	0	0	1	0	10	
緊急運航並びに相互応援協定・広域航空消防応援の合計件数														121	

3月31日現在

今年度の緊急運航件数は、上記表のとおり3月31日現在で121件ありました。

このうち、救助活動件数は県内外合わせて55件あり、県内活動が51件、相互応援協定等に基づく他県応援活動が4件でした。

緊急運航件数のうち、県内での救助活動が42%を占め、救急活動は32%、火災防御活動は17%、災害応急対策は1%、また、県外への応援活動は8%あり、相互応援協定及び広域航空消防応援隊として長野県、静岡県、群馬県、埼玉県へ応援活動を行いました。

各県防災航空隊視察研修

静岡県消防防災航空隊、福島県消防防災航空隊、茨城県防災航空隊への視察研修を実施しました。大規模災害発生時における連携強化、消防防災ヘリコプターの効率的な運用及び安全管理体制の一層の強化を図ることを目的として、資器材説明、駐機訓練、実機訓練に参加しました。他県防災航空隊の活動を知ることができ、非常に有意義な研修となりました。

静岡県消防防災航空隊



福島県消防防災航空隊



茨城県防災航空隊



令和6年度 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練

令和6年11月13日（水）、14日（木）に静岡県内において緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が行われました。本訓練は静岡県内での地震に起因する大規模災害を想定した実践的な訓練を実施し、各関係機関との連携強化を図ることを目的として行われました。

当航空隊は、富士宮エリア及び御殿場エリアにて上空偵察及び要救助者2名の救出活動を実施しました。

また、静岡県の地形や特徴を再認識し、応援時の相互の連携強化を図ることができました。

【訓練参加航空小隊】

山梨県・茨城県・群馬県・埼玉県・長野県・東京都・静岡県（開催県）
千葉市・横浜市・川崎市・静岡市・浜松市・名古屋市

【関係機関】

自衛隊・静岡県警察



令和6年度 林野火災 -活動報告-

令和6年12月26日に山梨県上野原市西原地内の山林において大規模な林野火災が発生し、約11.78ヘクタールが焼損しました。あかふじの他、広域航空消防応援に基づく、東京消防庁、横浜市消防局、埼玉県の消防防災ヘリコプター及び自衛隊のヘリコプターが3日間に渡り消火活動を行い、令和7年1月4日に鎮火しました。



令和7年1月18日に山梨県笛吹市・甲府市に跨がる大蔵経寺山において大規模な林野火災が発生し、約29.92ヘクタールが焼損しました。広域航空消防応援に基づく、東京消防庁、静岡県、群馬県の消防防災ヘリコプター及び自衛隊のヘリコプターが5日間に渡り消火活動を行い、令和7年2月1日に鎮火しました。



令和7年2月26日に大月市猿橋町小沢地内の山林において大規模な林野火災が発生し、約107.43ヘクタールが焼損しました。あかふじの他、相互応援協定に基づく、東京消防庁、静岡県、群馬県、埼玉県の消防防災ヘリコプター及び自衛隊のヘリコプターが5日間に渡り消火活動を行い、令和7年3月6日に鎮火しました。



令和7年に入ってから山梨県内では林野火災が相次ぎ、3月末までに発生した林野火災による焼失面積は150.9ヘクタールで、2001年以降の年間焼失面積を3月末時点で更新し、最大となっています。



〈 埼玉県：あらかわ4 〉



〈 横浜市：はまちどり 〉



〈 静岡県：オレンジアロー 〉



〈 群馬県：はるな 〉



〈 東京都：はくちょう 他2機 〉



〈 自衛隊：チヌーク 他4機 〉

～ 各応援機関の様子 ～

合同訓練等実施内容

山梨県災害対策本部図上訓練及び

山梨県ヘリコプター等航空運用調整会議

(令和6年9月4日:防災新館)

山梨県庁防災新館において山梨県災害対策本部総合図上訓練が行われました。



本訓練は曾根丘陵断層帯を震源とする県内最大震度7の地震が発生した想定で行われ、大規模災害時における関係機関相互の連携強化、災害対策活動の効率的な運用調整及び安全運航の確保を図ることを目的として行われました。多くの機関が参加する中、当航空隊は航空運用調整班として参加しました。

また、参画機関(全11機関)を調整班として招集し、災害時における、活動調整手順や要領を確認しました。

【参画機関】

- 国土交通省 関東地方整備局 防災室
- 国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所
- 国土交通省 関東地方整備局 富士川砂防事務所
- 陸上自衛隊 東部方面特科連隊
- 山梨県警察本部 警備部 警備第二課
- 山梨県警察本部 警備部 警備第二課 警察航空隊
- 山梨県福祉保健部 医務課
- 山梨県立中央病院 高度救命救急センター
- 海上保安庁 清水海上保安部
- 山梨県防災局 防災危機管理課
- 山梨県防災局 消防保安課



消防職員初任総合教育訓練

(令和6年8月23日：消防学校 他)

消防職員初任総合教育学生を対象に午前
は消防学校において講義、午後は基地格納庫
で施設説明、資器材展示、ヘリ誘導要領、訓
練展示を実施しました。



笛吹市消防本部合同訓練

(令和6年10月22日：清哲訓練場)

ヘリコプターによる現場への人員投入の
知識と技術を習得するとともに、地上隊との
安全確実な連携体制の構築を図ることを目的
として、救出救助訓練を実施しました。



県民の日記念行事（機体展示）

（令和6年11月17日）

：小瀬スポーツ公園補助競技場）

小瀬スポーツ公園において行われた、県民の日記念行事に参加し「あかふじ」の機体展示及びクリアファイルを配布し、山岳遭難の啓発活動を実施しました。



日本航空学園航空祭

（令和6年11月23日、24日）

：日本航空学園山梨キャンパス）

日本航空学園山梨キャンパスで行われた航空祭に参加しました。多くの観覧者が見守る中、「あかふじ」の飛行及び救出救助訓練を展示し、航空隊の活動をPRすることができました。



令和6年度山梨県 地震防災訓練

(令和6年11月24日：身延町 他)

駿河湾から和歌山県南東沖を震源とするM9.0の南海トラフ巨大地震が発生し、身延町では最大震度7の揺れを観測したとの想定で、災害発生時の初動体制として、被害状況把握のため上空偵察訓練、ヘリテレによる情報収集訓練を実施し、孤立集落で住民が取り残されたことを想定した救出救助訓練を実施しました。



山梨県立中央病院合同訓練

(令和6年12月2日：清哲訓練場)

災害時における救急・救助体制の連携強化を目的として、人員投入訓練、医師による観察後の連携訓練及び救出救助訓練を実施しました。



南アルプス市消防本部合同訓練

(令和6年12月9日：清哲訓練場)

山岳遭難等各種災害現場における救助活動の連携強化を目的として、人員投入訓練、連携訓練及び救出救助訓練を実施しました。



県庁防災新館屋上 HP 離着陸合同訓練

(令和7年2月5日：山梨県庁防災館屋上 HP)

山梨県における大規模災害発生時、人員の輸送等、県の防災拠点でもある県庁防災新館への離着陸訓練を実施しました。防災局の職員と協力し、HP 周囲の安全管理及びヘリ誘導要領等を再確認しました。



山梨県消防防災航空隊自隊訓練

山梨県消防防災航空隊では活動手技の習熟、隊員相互の連携強化、特殊環境下における技術向上を図ることを目的に、年間を通して自隊訓練を実施しています。

今後も過酷な現場での活動に対応すべく、山梨県消防防災航空隊一同、慢心することなく日々技術向上に努めて参ります。



退任隊員紹介

副隊長 石原 大

(笛吹市消防本部)

救助活動	32件
救急活動	0件
火災防御	19件
その他	0件
出勤合計	51件
救助人員	32名



令和5年7月1日～令和7年3月31日



副隊長 笠井 純斗

(甲府地区消防本部)

救助活動	74件
救急活動	0件
火災防御	21件
その他	3件
出勤合計	98件
救助人員	70名

令和4年4月1日～令和7年3月31日



令和7年3月31日付けをもちまして3年間の任期を終え、派遣元消防本部に帰任いたします。

各消防本部並びに各関係機関の皆様には、航空隊在任中のご支援ご協力に對しまして、厚くお礼申し上げます。

派遣元消防本部に帰任後も、これまでと変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

副隊長 石原 大

副隊長 笠井 純斗

YAMANASHI

あかふじ

AIR RESCUE

